事業番号 2023 - 文科 - 22 - 0173

					争耒奋亏	2023 -	又科 - 22	- 01/3
			令和5年	度行政事業レビュ	ューシート	(文部科	学省)
事業名	ポストコロ	ナ時代の医	医療人材養成拠点形成事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者
事業開始年度	4	令和4年原	事業終 (予定) 3		度 担当課室	医学教育課		〖学教育課長 ₹○幸嗣
<u>会計区分</u>	一般会計	 			•		1	
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	_				関係する 計画、通知等	. 決定)	改革の基本方針2021 -アップ(令和3年6月1	(令和3年6月18日閣議 8日閣議決定)
政策	4 個性な	が輝く高等	等教育の振興					
施策	II		ける教育研究の質の向		主要経費	教	て育振興助成費、その他 <i>の</i>)事項経費
政策体系•評価書URL	16.pdf			mxt_kanseisk01-00002654				
事業の目的 (5行程度以内)	ることによ	り、地域	医療のリーダーとなる人材	才を育成し、医師偏在の解 消	4を目指す。			プログラムの開発を支援す
	る。さらに	、高度医	療の浸透や、地域構造の	ハ医療人に求められる資質 変化(総合診療医の需要の 人材の養成が必要となって)高まり、難治性疾病の初	齢化の進展による医療ニ・ 期診断・緩和ケアの重要ℓ	ーズの多様化や地域医療の 性等)により、従来の医師養)維持の問題が顕在化してい 成課程では対応できていな
事業概要 (5行程度以内)	地域にとって必要	って必要な 要な医療を	な医療を提供することがで を志向するための動機づけ	きる医師を養成するために けや、資質能力の養成を図	、都道府県との連携の下、 る実習・講義等の教育プロ	、地域枠を活用し、医師養 Iグラムの開発・実施、地域	を成課程である学部教育の 対医療実習の拡充を行う教	刃期段階から、学生が地域に 育拠点を構築する。
事業概要URL	https://w	ww.mext.	go.jp/content/20220324-	-mxt_igaku-000021448_000	01.pdf			
	1-8-71							
<u>実施方法</u> 	補助							
			大学に70,000千円を基準 xt.go.jp/content/202203	售に補助 824−mxt_igaku−00002144	7_00001.pdf			_
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
			当初予算(A)	-	_	771	619.6	619.6
			補正予算(B)	-	-	-	-	
							-	
							-	
							-	
	予算の 状況						-	
予算額• 執行額							-	
(単位:百万円)		前年	耳度から繰越し(C)	-	_	-	-	-
(インプット)		翌:	年度へ繰越し(D)	_	_	-	-	
			予備費等(E)	-	_	_	-	
		=(Δ)	計(F))+(B)+(C)+(D)+(E)	-	_	771	619.6	619.6
			行額(G)	_	_	770		
			行率(%)	_		100%		
	1/ da 27 /		(G)/(F)	_		100%		
	当初予算	の割	三予算に対する執行額 割合(%) /{(A)+(B)}	-	-	100%		
		歳出	予算項•目	令和5年度当初予算	令和6年度要求		とな増減理由(・要望額・予	
	(項)	/=`	高等教育振興費	040.0	040.0	※補助金は逓減ルー ∕3に減額予定。	ルに基づざ事業終了前々	7年度に2/3、前年度に1
		(目)	研究拠点形成費等補助金	619.2	619.2	-		
令和5·6年度 予算内訳			諸謝金 業務旅費	0.2	0.2	-		
ア昇内訳 (単位: 百万円)			未務派質 委員等旅費	0.1	0.1	1		
			安貝寺派貝 庁費	0.0	0.0	1		
			その他	0	0	1		
			計(A)	619.6	619.6	1		

活動内容(アクティビテ	D 1)	行う教育拠点を構築する大学を支援する	υ ο								
1											
5動目標及び活	新史结	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
1		地域にとって必要な医療を提供することができる 医師の養成等に係る教育プログラムの開発・実	本事業におけるモデル構築大 学数(補助件数)	活動実績	件	-	-	11	-	-	
(アウトプッ 		施を行う教育拠点の構築	子奴(補助什奴)	当初見込み	件	-	-	11	11	11	
成果目材 設定 (アウト からのつ	理由 トプット	本事業は地域にとって必要な医師を養りが グラムの開発・実施、地域医療実習の扱 グラムの受講者数を設定し、長期アウト	な充を行う教育拠点を構築するI	収組を支援	するものつ	であるため、短	期アウトカムと	して地域医療			
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	年度 10 年度	
果目標及び成 ①−1				成果実績	人	-	_	4,885	14,771		
(短期アウトカ		地域医療ニーズを踏まえた教育プログ ラムの実施	教育プログラムの受講者数	目標値	人	-	-	3,482			
		- · · · - · · · -		達成度	%	-	-	140.3		_	
定性的なアウト 関する成果될											
	実績 栗①-2の 理由 ウトカム	本事業は地域にとって必要な医師を養所を養所を養所を表がである。 がうムの開発・実施、地域医療実習のがである。 がうムの受講者数を設定し、長期アウト	な充を行う教育拠点を構築するB	取組を支援	するもので	であるため、短	期アウトカムと	して地域医療	図る実習・講 第 ニーズを踏ま <i>;</i>	き等の教育プロ えた教育プロ	
関する成果 目標 放果目標 設期ア からのつ	実績 乗①-2の 理由 ウトカム かながり)	グラムの開発・実施、地域医療実習の拡	な充を行う教育拠点を構築するB	取組を支援	するもので	であるため、短	期アウトカムと	して地域医療	ニーズを踏まえ	えた教育プロ	
関する成果 が 成果目標 没知の からのつ からのつ からのつ がっこう はいます かいりゅう はい	実績 東①-2の 理由 ウトカム かながり)	グラムの開発・実施、地域医療実習の扱 グラムの受講者数を設定し、長期アウト 成果目標	は充を行う教育拠点を構築するほ カムとして診療科を指定した地域 定量的な成果指標	取組を支援	するもので	であるため、短 成医療機関への	期アウトカムと)定着率を設定	:して地域医療: :した。 	ニーズを踏また	えた教育プロ	
関する成果国成果国権に対象のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	実績 東①-2の 理由 ウトカム かながり)	グラムの開発・実施、地域医療実習の抗グラムの受講者数を設定し、長期アウト	は充を行う教育拠点を構築するほカムとして診療科を指定した地域	取組を支援 域枠等入学	するもので 者の地域	であるため、短 成医療機関への	期アウトカムと)定着率を設定 の定着率を設定 のである。 である。	して地域医療 した。 令和4年度	ニーズを踏まえ 目標最	えた教育プロ 終年度 10 年度	
関する成果 引 成果目標 短期アからのつ	実績 東①-2の 理由 ウトカム かながり)	グラムの開発・実施、地域医療実習の扱 グラムの受講者数を設定し、長期アウト 成果目標	は充を行う教育拠点を構築するほ カムとして診療科を指定した地域 定量的な成果指標 地域枠等入学者の地域医療	取組を支援 域枠等入学 成果実績	するもので 者の地域 単位 %	であるため、短 対医療機関への 令和2年度 -	期アウトカムと)定着率を設定 令和3年度	して地域医療 した。 令和4年度	ニーズを踏ま <i>注</i> 目標最 1	えた教育プロ 終年度 10 年度 -	
関する成果 成果 し 成果 し 成果 し を対した。 ないがあるののでは、 ないのでは、 ないのでは、 では、 ないのでは、 ないのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ま (車車ウな 果 ム 標に出ん) に は (トカー) に (トカー) に (トカー) ま (トカー) に (トカー)	グラムの開発・実施、地域医療実習の扱 グラムの受講者数を設定し、長期アウト 成果目標	は充を行う教育拠点を構築する時 カムとして診療科を指定した地域 定量的な成果指標 地域枠等入学者の地域医療 機関への定着率	取組を支援学 成果 標値 度	するもので 者の地域 単位 % %	であるため、短 対医療機関への 令和2年度 - -	期アウトカムと) 定着率を設定 令和3年度 -	して地域医療 した。 令和4年度 - -	ニーズを踏ま <i>注</i> 目標最 1	えた教育プロ 終年度 10 年度 - 00	
関する成果 東京 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	ま (車車ウな 果 ム 標に出ん) に は (トカー) に (トカー) に (トカー) ま (トカー) に (トカー)	グラムの開発・実施、地域医療実習の抗 グラムの受講者数を設定し、長期アウト 成果目標 地域のニーズに対応する医療人の増加	は充を行う教育拠点を構築する時 カムとして診療科を指定した地域 定量的な成果指標 地域枠等入学者の地域医療 機関への定着率	双組を等入 成 目 達 況調を支入 実 値 度 等	するもので 者の地域 単位 <u>%</u> %	であるため、短 成医療機関への 令和2年度 - - -	期アウトカムと)定着率を設定 令和3年度 - -	して地域医療 した。 令和4年度 - -	ニーズを踏ま <i>注</i> 目標最 1	えた教育プロ 終年度 10 年度 - 00	
関する成果 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ま (車車ウな 果 ム 標に出ん) に は (トカー) に (トカー) に (トカー) ま (トカー) に (トカー)	グラムの開発・実施、地域医療実習の抗 グラムの受講者数を設定し、長期アウト 成果目標 地域のニーズに対応する医療人の増加	は充を行う教育拠点を構築する時 カムとして診療科を指定した地域 定量的な成果指標 地域枠等入学者の地域医療 機関への定着率 形成事業 事業計画書、取組状	双組を等入 成 目 達 況調を支入 実 値 度 等	するもので 者の地域 単位 <u>%</u> %	であるため、短 成医療機関への 令和2年度 - - -	期アウトカムと)定着率を設定 令和3年度 - -	して地域医療 した。 令和4年度 - -	ニーズを踏ま <i>注</i> 目標最 1	えた教育プロ 終年度 10 年度 - 00	
関する成果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実績 東理ウな 果田ウな 果田ウな 果田ウム 果田ウム 実) 標た出力績 の しいに の しいに の しいに の いに	グラムの開発・実施、地域医療実習の排 グラムの受講者数を設定し、長期アウト 成果目標 地域のニーズに対応する医療人の増加 ポストコロナ時代の医療人材養成拠点計	立充を行う教育拠点を構築する時 カムとして診療科を指定した地域 定量的な成果指標 地域枠等入学者の地域医療 機関への定着率 形成事業 事業計画書、取組状 アクティビティ①につし	双組枠 成 目 達 況 で 定支入 実 値 度 等 体が で 実 値 度	するもので 者の地域 単位 % %	であるため、短 対医療機関への 令和2年度 - - -	期アウトカムと)定着率を設定 令和3年度 - - -	して地域医療 した。 令和4年度 - -	ニーズを踏ま <i>注</i> 目標最 1	えた教育プロ 終年度 10 年度 - 00	
関する 成 (か) () () () () () () () () (実績 東理ウな 果田ウな 果田ウな 果田ウム 果田ウム 実) 標た出力績 の しいに の しいに の しいに の いに	グラムの開発・実施、地域医療実習の排 グラムの受講者数を設定し、長期アウト 成果目標 地域のニーズに対応する医療人の増加 ポストコロナ時代の医療人材養成拠点計	は充を行う教育拠点を構築する時 カムとして診療科を指定した地域 定量的な成果指標 地域枠等入学者の地域医療 機関への定着率 形成事業 事業計画書、取組状	双組枠 成 目 達 況 で 定支入 実 値 度 等 体が で 実 値 度	するもので 者の地域 単位 % %	であるため、短 対医療機関への 令和2年度 - - -	期アウトカムと)定着率を設定 令和3年度 - - -	して地域医療 した。 令和4年度 - -	ニーズを踏ま <i>注</i> 目標最 1	えた教育プロ 終年度 10 年度 - 00	
 関する は、(か) は、(な) <li< td=""><td>実績 東理ウな 果田ウな 果田ウな 果田ウム 果田ウム 実) 標た出力績 の しいに の しいに の しいに の いに</td><td>グラムの開発・実施、地域医療実習の排 グラムの受講者数を設定し、長期アウト 成果目標 地域のニーズに対応する医療人の増加 ポストコロナ時代の医療人材養成拠点計</td><td>立充を行う教育拠点を構築する時 カムとして診療科を指定した地域 定量的な成果指標 地域枠等入学者の地域医療 機関への定着率 形成事業 事業計画書、取組状 アクティビティ①につし</td><td>双組枠 成 目 達 況 で 定支入 実 値 度 等 体が で 実 値 度</td><td>するもので 者の地域 単位 % %</td><td>であるため、短 対医療機関への 令和2年度 - - -</td><td>期アウトカムと)定着率を設定 令和3年度 - - -</td><td>して地域医療 した。 令和4年度 - -</td><td>ニーズを踏ま<i>注</i> 目標最 1</td><td>えた教育プロ 終年度 10 年度 - 00</td></li<>	実績 東理ウな 果田ウな 果田ウな 果田ウム 果田ウム 実) 標た出力績 の しいに の しいに の しいに の いに	グラムの開発・実施、地域医療実習の排 グラムの受講者数を設定し、長期アウト 成果目標 地域のニーズに対応する医療人の増加 ポストコロナ時代の医療人材養成拠点計	立充を行う教育拠点を構築する時 カムとして診療科を指定した地域 定量的な成果指標 地域枠等入学者の地域医療 機関への定着率 形成事業 事業計画書、取組状 アクティビティ①につし	双組枠 成 目 達 況 で 定支入 実 値 度 等 体が で 実 値 度	するもので 者の地域 単位 % %	であるため、短 対医療機関への 令和2年度 - - -	期アウトカムと)定着率を設定 令和3年度 - - -	して地域医療 した。 令和4年度 - -	ニーズを踏ま <i>注</i> 目標最 1	えた教育プロ 終年度 10 年度 - 00	
関す は	実 (Table 1) は (Table 2) は (T	グラムの開発・実施、地域医療実習の排 グラムの受講者数を設定し、長期アウト 成果目標 地域のニーズに対応する医療人の増加 ポストコロナ時代の医療人材養成拠点計	立充を行う教育拠点を構築する時 カムとして診療科を指定した地域 定量的な成果指標 地域枠等入学者の地域医療 機関への定着率 形成事業 事業計画書、取組状 アクティビティ①につし	双組枠 成 目 達 況 で 定支入 実 値 度 等 体が で 実 値 度	するもので 者の地域 単位 % %	であるため、短 対医療機関への 令和2年度 - - -	期アウトカムと)定着率を設定 令和3年度 - - -	して地域医療 した。 令和4年度 - -	ニーズを踏ま <i>注</i> 目標最 1	えた教育プロ 終年度 10 年度 - 00	
→ 果 (実乗車ウな果 ム標い出力績つ名の ムり4の)に不	グラムの開発・実施、地域医療実習の打がラムの受講者数を設定し、長期アウト 成果目標 地域のニーズに対応する医療人の増加 ポストコロナ時代の医療人材養成拠点 サート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	立充を行う教育拠点を構築する時 カムとして診療科を指定した地域 定量的な成果指標 地域枠等入学者の地域医療 機関への定着率 形成事業 事業計画書、取組状 アクティビティ①につし	双組枠 成 目 達 況 で 定支入 実 値 度 等 体が で 実 値 度	するもので 者の地域 単位 % %	であるため、短 対医療機関への 令和2年度 - - -	期アウトカムと)定着率を設定 令和3年度 - - -	して地域医療 した。 令和4年度 - -	ニーズを踏ま <i>注</i> 目標最 1	えた教育プロ 終年度 10 年度 - 00	

事業所管部局による点検・改善																										
点検結果		戦略フォ	-ローア _ン 画的か	ップ(全 つ確実	計和3年6 に人材の	でを 至の基本方 第18日閣議 18日間 は 18日間 は 18日間は	決定)」 或医療実	等に	盛り込ま)拡充を	ミれた 行 う	ニ政策を 教育拠点	実現す	するも <i>0</i> 築する	かと う観	目	漂年月	度にお	 おける	る効果	測定的	こ関す	る評価	西(令:	和114	手度 罗	上
		点から、国が財政支援を行いながら強力に推進する必要がある。支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定することにより、その妥当性や競争性が確保されることになっている。																								
改善の 方向性					っては、毎 iうこととす	手年度の進 ¹ る。	步状況╺〗	取組	実績等を	を報告	告書によ	り確認	忍すると	ととも	に、『	事後評	価を	実施	し、評化	西結果?	を踏まえ	えた事	業内容	₹の改善	善•定:	着、
											機者の所															
・成果指標につい 超過しているかを							は、受講	者数	(水準)(こ加え	えて、教	育プロ	ュグラム	∠- ⊐-	ース(の定員	充足	率等	、当初	の受講	者数見	込みと	こどの	程度乖	離若し	しくは
						行政	事業レビ	<u>-</u>	-推進ヲ	F— <i>]</i>	ムの所り	見に至	Eる過	程及	び月	f見										
事業内容の一部	部改善	外部有詞	戦者の別 の。また知	「見を記 豆期ア	踏まえ、成 ウトカム <i>0</i>	は果指標に)目標年度	が事業終	冬了年	F度とな	ってし	受講者 いるため 算要求	、事業	美途中 (の成り	果とし	受講:	者数見認でき	見込 <i>る</i> きるよ	みとの: う設定	差につし !年度等	いて評値	面できる	る指標すずべ	なども きであ	検討 ⁻ る。	すべ
左曲のに北美	- + ⇔ = ↓	世里	- I I 65 T#c	ı — +m +E	2±7+.4	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									八兀											
年度内に改善を	と作引	八米で4	- ツロソ印色	一把挡	È 9 0/50.	、成果指標 									=	-	_ 1 .,									
						公開プロ	セス・秋	の年	三次公 身	捐検 語	証(秋の	ンレビ	ュー)(にお	ける	取りま	きとめ)								
		_																								
									上	記へ	の対応	状況														
		_																								
過去に受けた指と対応状況																										
									そ(の他	の指摘	事項														
		_																								
									F:		の対応	十七														
										dr. ,	· V ノ	11\NL														
		_																								
										i±	± -1 z.															
_										1/1	持															
							題語	する	過去の	تبارا	ューシー	- L M ³	主業来	是												
平成23年度								- 7 0	, AZ AZ V)		_ /	, 0)=	- 不田	7												
平成24年度																										
平成25年度																										
平成26年度																										
平成27年度																										
平成28年度																										
平成29年度																										
平成30年度			Γ	T		<u> </u>			T		 	<u> </u>							<u> </u>	1		 	1	<u> </u>	<u> </u>	
令和元年度				+			<u> </u>	\perp	-	+			_		\dashv	+	_	+	_		<u> </u>	++		_	_	+
令和2年度	2004	المراجعة	<u> </u>	¥500	0023		-						-		1			+				\coprod				+
令和3年度	2021	文科		新22 新22	0011							_						+								+
令和4年度	2022	文科	7	新22	0007																					

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省 (771.0百万円)

謝金:0.5百万円 委員等旅費:0.1百万円 庁費:0.1百万円 を含む

対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。

【補助金等交付】

A.大学(全11大学) (770.0百万円)

各大学が連携地域医療に従事しようとする意志を持つ学生を選抜する入学定員枠を用いて、地域にとって必要な医療を提供することができる医師の養成に係る教育プログラムの開発・実施を行う教育拠点を構築し、医師の地域偏在・診療科偏在に対応する人材を育成する。

資金の流れ (資金の受け取り先が 何を行っているかにつ いて補足する) (単位:百万円)

【分担金】

B.連携大学(全15大学)

申請担当大学と相互に連携し、地域のニーズに対応する医療人材を養成する。

費目・使途(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金額が支出されている者に
ついて記載する。費目と
使途の双方で実情が分かるように記載)

		A.			B.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
7	物品費	設備備品費・消耗品費	41.3	物品費	設備備品費·消耗品費等	29.3
- F	人件費・謝金 その他	事務補佐員雇用経費等	13.1	人件費·謝金	人件費·謝金	6.6
ع	その他	外注費・印刷製本費・諸経費等	12.4	その他	外注費·諸経費等	2.9
ì	分担金	連携1大学への分担金	11.7	旅費	国内旅費	0.5
	旅費	国内旅費	0.2			
	計		78.6	計		39.3

チェック

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

支出先上位10者リスト

A

支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1 国立大学法人千葉大学口	2040005001905	地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域 志向型医療人材養成プログラム 地域医療の多様なニースにシームレ	78.6	補助金等交付	_	-	_
2 国立大学法人筑波大学口	5050005005266	スに対応できるオールラウンダーの 養成	78.6	補助金等交付	_	-	-
3 国立大学法人東海国立大学 機構	3180005006071	医療人類字とハーチャル教育を店用 した屋根瓦式地域医療教育(濃尾 +A)	78.6	補助金等交付	_	-	-
4 国立大学法人富山大学	4230005003054	臨床医学と社会医学を駆使して地域 を守る医療人の養成	78.6	補助金等交付	_	-	-
5 国立大学法人琉球大学口	6360005001332	局医者・山医者・里医者育成プロジェクト(ER型救急・総合診療に対応できる医師育成)	78.6	補助金等交付	_	-	-
6 国立大学法人岡山大学	2260005002575	多様な山・里・海を巡り個別最適に字 ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の 構築	78.6	補助金等交付	_	_	-
7 国立大学法人長崎大学	3310005001777	次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト~地域とくらしを支える医療人の育成~	78	補助金等交付	_	_	-
8 国立大学法人宮崎大学	1350005001593	地方と都市の地域特性を補完して地域枠と連動しながら拡がる 医師養成モデル事業 ~KANEHIROプログラム:病気を診ずして病人を診よ~	77.2	補助金等交付	_	_	-
9 学校法人埼玉医科大学	3030005011020	埼玉・群馬の健康と医療を支える未 来医療人の育成	60.7	補助金等交付	_	_	_
10 国立大学法人高知大学	7490005001707	黒潮医療人養成プロジェクト	42	補助金等交付	-	_	_

В

В								
	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人新潟大学	3110005001789	臨床医学と社会医学を駆使して地域を守る医療人の養成	39	その他	_	-	-
2	国立大学法人熊本大学	2330005002106	次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト〜地域とくらしを支える医療人の育成〜	30	その他	_	-	-
3	国立大学法人東京医科歯科 大学	6010005007397	地域医療の多様なニースにシームレスに対応できるオールラウンダーの 養成	22	その他	_	-	_
4	国立大学法人鳥取大学	4270005002614	多様な山・里・海を巡り個別最適に字 ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の 構築	18	その他	_	-	-
5	国立大学法人島根大学	4280005002142	多様な山・里・海を巡り個別最適に字 ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の 構築	18	その他	_	-	_
6	国立大学法人香川大学	7470005001659	多様な山・里・海を巡り値別最適に字 ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の 構築	18	その他	_	-	_
7	国立大学法人鹿児島大学	6340005001879	次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト〜地域とくらしを支える医療人の 育成〜	14	その他	_	-	_
8	学校法人慈恵大学	9010405001658	地方と都市の地域特性を補完して地域枠と連動しながら拡がる 医師養成モデル事業 ~KANEHIROプログラム:病気を診ずして病人を診よ~	13	その他	_	_	-
9	学校法人東邦大学	4010805000735	地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合 力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療 人材養成プログラム	12	その他	_	_	_
10	国立大学法人佐賀大学	1300005002712	局医者・山医者・里医者育成フロジェクト(ER型救急・総合診療に対応できる医師育成)	11	その他	_	_	_
	支出先上位10	チェック						